

口の異常・頭をぶつけた・やけど

口の異常

- 口内炎、舌炎、歯肉炎があって痛みがある
- 口の中に発疹がある

緑

頭をぶつけた

- すぐに泣いて他に症状が無い
- たんこぶができています

緑

- ぶつけた部位がへこんでいる
- 何回も吐いている
- 顔色が悪い

黄

- けいれんを起こしている
- 意識が無い
- 出血が止まらない

赤

やけど(熱傷)

- 熱傷面積がお子さんの手のひらより狭いとき(指先など)
- 水ぶくれがないとき



緑

- 関節部分や手のひらなどを熱傷した場合
- 熱傷部分が白、もしくは黒くなっている場合

黄

- 広範囲のやけどの場合(やけどの面積がお子さんの手のひらより広いとき)
- 顔のやけど

赤



日中に
かかりつけ医へ



夜間でも
相談または受診



救急車を呼ぶ

口の痛みがあるとき

痛みで食事が取れない場合でも水分補給をしっかりとしましょう。痛みが強い時は氷やアイスクリームなどの冷たい物の方が痛みは楽になります。

頭をぶつけたとき

意識もしっかりとしていて元気ならば、ぶつけた部位を冷やして様子を見ましょう。

こどもは頭をぶつけた後で吐くことがありますが、1、2回の嘔吐で元気であれば様子を見ても大丈夫です。ただし、何回も続けて吐いていたり、1、2回の嘔吐でもぐったりしている場合は救急を受診する必要があります。

頭をぶつけた直後は大丈夫でも、数時間は症状が変化する可能性があります。24時間は注意して、症状が変化したときは再度左のページの表を確認してください。

やけどの応急手当

- 流水(水道水)や氷などを利用して冷やします(市販の冷えるシートは、熱傷の冷却用には使えません)。
- 熱いお風呂に落ちたなど、服を着たままの熱傷の場合には、服の上から冷やします。最低20~30分間以上、痛みが消失するのを目途に冷やしましょう。

時間外受診のポイント

- 広範囲の熱傷の場合には、熱傷の程度が軽くみえても受診をしましょう。
- 熱傷部分が白、もしくは黒くなっている場合は範囲に関わらず必ず受診しましょう。
- 関節部分や手のひらなどを熱傷した場合、皮膚の引きつれがおこり、動かしにくくなる可能性がありますので、早めに受診しておきましょう。
- 顔のやけどは気道のやけどの可能性があるので、救急車で受診してください。
- 熱傷の重症度判断はきわめて難しいので、判断がつかない場合は病院を受診しましょう。